

2021年4月1日

読売テレビ入社式での大橋社長あいさつ 『新しいテレビの扉を開いていきたい』

4月1日、読売テレビの入社式兼永年勤続表彰式が本社で行われ、16人（男性8人、女性8人）の新入社員が入社しました。式では新型コロナウィルスの感染防止のため全員マスクを着用し、出席者の間隔を通常より空けるなどの対策がとされました。

新入社員は辞令を受け取った後、代表が宣誓を行い「16人それぞれが全く違う夢を持っています。そして、その夢を叶えるための熱意を持っています。これから直面するどんな困難もこの熱意で乗り越えていきます。時に競い合い、時に助け合いながら、全員で夢に向かって走り続け、新たなテレビの時代を作り上げていくことを誓います」と新たな出発への意気込みを語りました。

続いて、大橋善光代表取締役社長は「読売テレビは、テレビ界の先頭に立って、新しいテレビの扉を開いていきたいと強く思っています。勇気がいることだと思いますが、恐れることはありません。失敗したらやめればいい。『過ちては改むるに憚ること勿れ』『君子は豹変す』最近、私がつぶやいている言葉です。皆さん自身が読売テレビの、いや、テレビ界の期待を高め、不安を減らす先頭に立ってください」と述べました。（社長メッセージの全文は別紙）

